

胃内視鏡検査 説明・同意書

口または鼻からカメラ(内視鏡)を入れて食道・胃・十二指腸の粘膜を観察する検査です。癌やポリープ、潰瘍、炎症などの有無や程度を調べます。

① 経鼻内視鏡をご希望の方:鼻の奥が狭くて硬いために挿入が不可能な場合が約 700-800 人に 1 人の割合で見られ、その場合は細い内視鏡を口から入れることになります。

② 胃内に食物が残っていて観察が困難な場合、再検査を要することがあります。

③ 内視鏡検査中、必要に応じて粘膜の一部を採取(生検)し、顕微鏡検査(病理検査)を行います。生検後当日は飲酒・刺激の強いものなど摂らないようお願いいたします。病理検査を行った場合、結果説明のために再度ご来院していただきます。

④ 【偶発症】

・局所麻酔薬アレルギー(ショック、呼吸困難、血圧低下など):頻度 0.0059%
アルコールアレルギー、キシロカインアレルギー、アスピリン喘息の既往のある方は必ず申告してください。

・出血・穿孔(食道や胃十二指腸に穴があく):頻度 0.012%

・経鼻内視鏡検査の場合、鼻出血・鼻痛、まれに頭痛や歯痛を認めることがあります(頻度 4-5%)。ほとんど軽度のもので数分で止まります。

・鎮静剤(静脈麻酔)を使用した場合、呼吸抑制(停止)・血圧低下・ふらつき・眠気を認めることがあります。そのため検査後 1 時間ほどベッドで休んでいただきます。検査当日は自動車・バイク・自転車などの運転や危険な仕事などはお控えください。

※万が一、上記の合併症が起きた場合には、最善の処置を行います。この際の費用は通常の保険診療となります。

以上、ご承諾いただいた方はご署名の上に、検査前にご提出下さい。

検査日: 年 月 日 時

承諾日: 年 月 日 　　　　　　　　　ご署名

西田内科クリニック 院長 西田泰之

0766-95-5088